

これの神床にお鎮まり下さいます親神天理王命の御前に
慎んで申し上げます

“日々をやの思案と云うものわ 救ける模様ばかり思うてる”
と仰せ下さいましたが 私達は早くから栄えある“月日のやし
しろ”であり“ひながたの親”なる教祖の道具衆としてお引
き寄せ頂き 洵に感謝の念に堪えません

その中にも今日の吉き日は これの 月次祭の日
柄に当たりますので 只今から一手一つに勇んで陽氣づとめ
を勤めさせて頂きます

さて 去る御本部の秋季大祭の於いて 真柱様は“諭達第二
号”を公布されましたが 今尚病む人は絶えず悩みの種は誠
に尽きない それは元を知らぬからであると仰せられ「この
元」を知らせることこそこの道の神髓である 徒に我欲に走
り 安逸に流れがちな人々に 心の定規を提示し 元なるを
やの思いをにいがけすることの大切さを強調されました
更に 身上に苦しみ事情に悩む人々へのおたすけこそ よふ
ぼくの何よりの任務であるとかえられました

「人を救ける心は真の誠一つの理で 救ける理が救かる」
との御教示を胸に 常々に人だすけを念じ 陽氣づくめの世
の実現を期して 弛むことなく 世界たすけの歩みを一手一
つに進めよう と申されました尚一人ひとりが誠の心で通る
ところ 内々は自づと睦まじく治まり 世の人々にも成程の
理が映り 土地所に陽氣ぐらしの種を蒔くことになる。私達
は愈々教祖のひながたを目標として 誠の道を踏み行い 一
層「今からたすけするのやで」と世界ろくじに踏み均しに出
られた教祖の大いなるお心に御応えできますようお導きの程
を一同と共に慎んでお願い申し上げます